

倫理審査委員会 平成27年3月31日

申請者	泌尿器科医師 織部 智哉
受付番号	143
課題名	患者の尊厳を考慮した時、維持血液透析の見合わせも最善の治療を提供するという選択肢になりうる
研究の概要	日本透析医学会のワーキンググループから「維持血液透析の開始と継続に関する意志決定プロセスについての提言」が発表されているが、その中で、「判断能力がない患者の家族が、患者の意志を推定できない場合には、家族と医療チームが医療およびケアのあり方について十分話し合う、両者間で合意が得られれば、その決定された結果を尊重する。」とあり、家族の同意を得て、維持血液透析を見合わせるということも選択肢として考慮したい。
判定	計画どおり承認